

## 馬頭観音まつり

観音菩薩は33の姿に化身して、衆生を濟渡する慈悲の仏。庶民の現世利益に応えてくれる仏として人々に親しまれ、尊ばれてきました。

脈々と行われてきた伝統行事ともいえませんが、この観音菩薩のもとで開かれる「馬頭観音まつり」。かつて、この地方は馬の産地として広く知られており、多くの名馬を産出していたことから、馬頭観

音を祀るようになったそうです。しかし、残念ながら戦後になってからは馬の姿を見かけることはできなくなりました。

毎年7月第3日曜日には縁日が開かれ、「護摩たき」や御神白馬と稚児行列などの「練り供養」が盛大に行われます。近年では、これらに加え、元氣いっばいの子供神輿などが賑やかに参加して、祭りを盛り上げています。

## 天王まつり

「天王まつり」は別名「天王様」とも呼ばれ、毎年旧暦の6月15日頃に祭りが開かれます。祭りの開催は、時に前日に行われることも多く、昔は踊りを披露するところもありました。

神に供える供物は、必ずキュウリ。天王様にキュウリを2本差し出し、2本のうち1本を自分の家の仏壇に下げてくるということもあります。また、この日までキュウリを食べることができなかった所もあったとか・・・祭りは現在では一部の地域だけで行われています。

